

【ver2.0 からの変更点】

(1)WebServer 上の DB(mysql)を使用

- ・既存の申込データと Web からの申込データを一元管理することにより、プログラムをシンプルにした。
- ・多数の申込があっても、安定化しているため、taskManager による申込の吸収の必要をなくした。

(2)受付メール送信機能を追加

そのため、Microsoft Access の受付プログラム内にデータを追加し拡張（追加処理はプログラムで処理）。

(3)Web のレイアウト編集機能は廃止

(4)非公開情報のアップロード時の確認を廃止

- ・Web 上のデータベースの非公開メンバー情報 Table 内のメンバーが自動的に非公開になる。

(5)ログの保存と閲覧機能を追加

- ・不具合があった時の確認のため、申し込み情報は全てテキストの状態 Web 上の DB に保存。閲覧機能あり

(6)MP 情報のアップロード管理の変更

- ・MP 情報は Web 上のデータベースに保存される（IMP リーグ Web 申込でも使用）

(7)Web 上の申込データは管理用パソコン上システムを起動した際、自動的に Microsoft Access の受付プログラムに登録

- ・システム起動中に申し込まれたデータは、フォーム上に件数が表示される。

アップロードを行う時、Microsoft Access の受付プログラムに自動的に登録。

アップロードを行わなかった時は、次回にプログラムを起動した際に自動的に登録。

(8)受付フォームの Link 先(変更)

<http://www.ofunabc.jp/entrySystemOfunaDB/WebEntry/WebEntry.html>

競技会 id（アクセスの競技会の id）が 939 の場合、以下の様にリンクを記載する。

<http://www.ofunabc.jp/entrySystemOfunaDB/WebEntry/WebEntry.html?id=939>

(9)受付状況表示の Link 先(変更)

<http://www.ofunabc.jp/entrySystemOfunaDB/entryDisp/EventList.html>

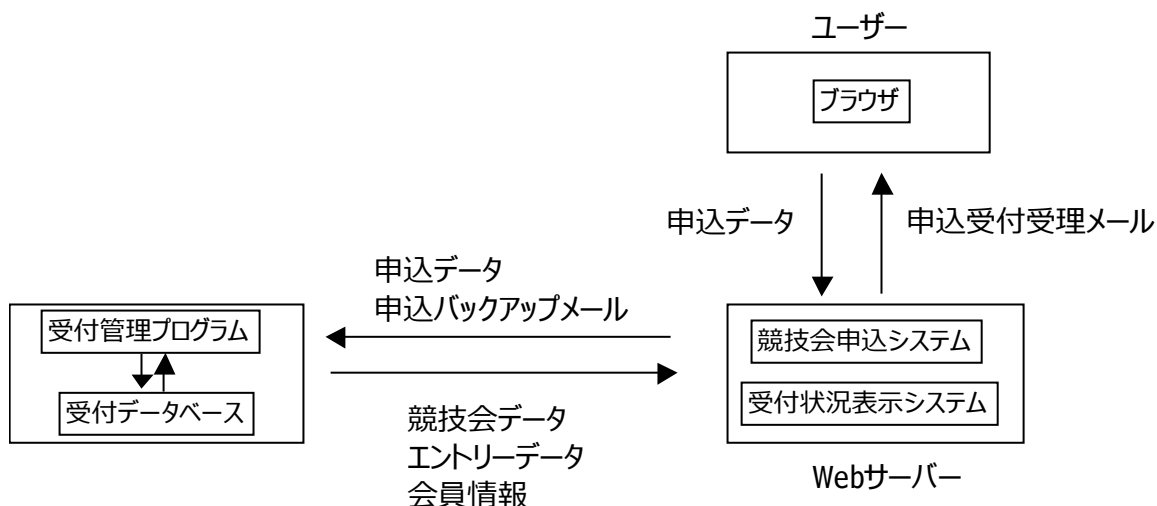
(10)Web 申込フォームを変更

- ・データベースに対応
- ・ご登録の流れを図式化
- ・申込者が二度目の申込から申込済試合を表示可能に
- ・フォントを変更

(11) 受付状況表示システム

- ・データベースに対応
- ・フォントを変更

1. システム概略



本システムは大きく分けて次の二つのシステムからなっている。

(1) WEB サーバー上のシステム

WEB サーバー上のシステムは二つのシステムからなる。

ア. 受付状況表示システム

本プログラムは、Microsoft Access の受付プログラム内のエントリーデータとデータ競技会申込システムから申し込まれたデータを付加して表示する。

イ. 競技会申込システム

競技会申込システムはユーザーがホームページから、競技会を申し込むシステム。ユーザーは参加する競技会を選択し、必要な項目を入力し、送信すると、ユーザには競技会申込受理通知メールが、管理者側にはそのメール内容のバックアップメールが送付され、Web サーバー上にはその申込内容のデータが保存される。二重登録はできない。

この申込フォームには以下の機能が盛り込まれている。

- ① 会員番号を入力すると姓名欄には自動的に該当する姓名を表示
- ② 郵便番号を入力すると、住所欄に該当する住所を表示
- ③ メールアドレス、住所、電話番号は、一度申し込むと、申込に使用したパソコンにその情報を保管し、次回に申し込む際に自動的に表示。
- ④ 申し込んだ会員情報を③と同様に使用したパソコンに保管し、次回に自動的に表示。

(2) 管理用パソコン上のシステム(以下、管理プログラム)

管理用パソコン上のシステムは大幅に変更した。

ア. Web での申し込みデータは本システムを起動した時に Microsoft Access の受付プログラムに自動的に保存

イ. 受付メール送信機能を追加

ウ. ログの保存と閲覧機能を追加

申し込み情報は全てテキストの状態 Web 上の DB に保存。閲覧機能あり。

2. Web サーバー上の新規エントリーデータのデータベースへの登録操作(変更)

Web サーバー上に新規エントリーデータがあると、受付管理プログラムを起動した時、自動的に Microsoft Access の受付プログラム保存される。

プログラム起動中に申し込まれたデータは、フォーム上に件数が表示される。

アップロードを行う時、Microsoft Access の受付プログラムに自動的に登録される。

アップロードを行わなかった時は、次回にプログラムを起動した際に登録される。

3. JCBL 会員情報の Web 上へのアップロード(変更)

競技会申込システム上で、JCBL の会員情報(会員番号、姓名、bp、sp)を毎月更新する必要がある。Microsoft Access の受付プログラムの sp 情報を更新した際、Web サーバー上のデータベースにそのデータをアップロードする。

(1) メインフォームの「Web エントリー」メニューから「JCBL 情報アップロード」を選ぶ。

プログラムはアクセス上のメンバー情報から最新のデータがいつの情報か調べた後、表示する。図の例では 2012 年 12 月末締切のデータであることを示す。

(2) アップロードボタンを押す。下部の空白欄にアップロード状況が表示される。



4. 日常の処理

- (1) 送られてきたバックアップメールを印刷する。
- (2) 管理プログラムを一度起動し、Web 上の申込データを Microsoft Access の受付プログラムに登録させる。
- (3) 管理プログラムを終了。
- (4) 新しい申込データが正しく登録されているか Microsoft Access の受付プログラムで確認する。
- (5) Web 以外の方法で申し込まれた情報を登録。
- (6) 管理プログラムを起動し、エントリー情報をアップロードする。

5. 受付メール送信機能(新規)

Web から申し込まれた人のメール情報は、Microsoft Access の受付プログラム内の各申込データの mailAddress フィールドに保存される他 mailTable に会員番号と共に保存される。したがって、次回に Web 以外で申し込まれた場合も受付メールを送信可能

(1) 受付メール送信

送信する競技会を選択し、「メール」-「送信フォーム」を選択

ア. フォーム左に、連絡担当者の一覧が表示される。表示データは表示チェックボックスで変更可能

- Web 申込+Mail Address 有り

Web で申し込まれたデータと過去に Web で申し込まれ Mail Address が Microsoft Access の受付プログラムデータベース内にあるもの

- Web 申込 今回、Web で申し込まれたデータのみ

- 全て 申込の全てのデータ

イ. 送信メール内容の変更

送信メール内容は編集可能。変更した時は、保存ボタンで保存すると次回開いた時に反映される。

ウ. テストメール送信ボタンを押すと、センターにメールが送信。メール内容の確認用。

エ. 送信したい連絡担当者を「送信」チェックボックスでチェックし、メール送信ボタンを押す。

連絡担当者にメールが送信されると共に、センターにはバックアップメールが送信される。送信されたかどうか確認するため。

【注意】連絡担当者にメールが確実に送信されたかどうかは不明です。相手のメールアドレスが間違っている場合は。

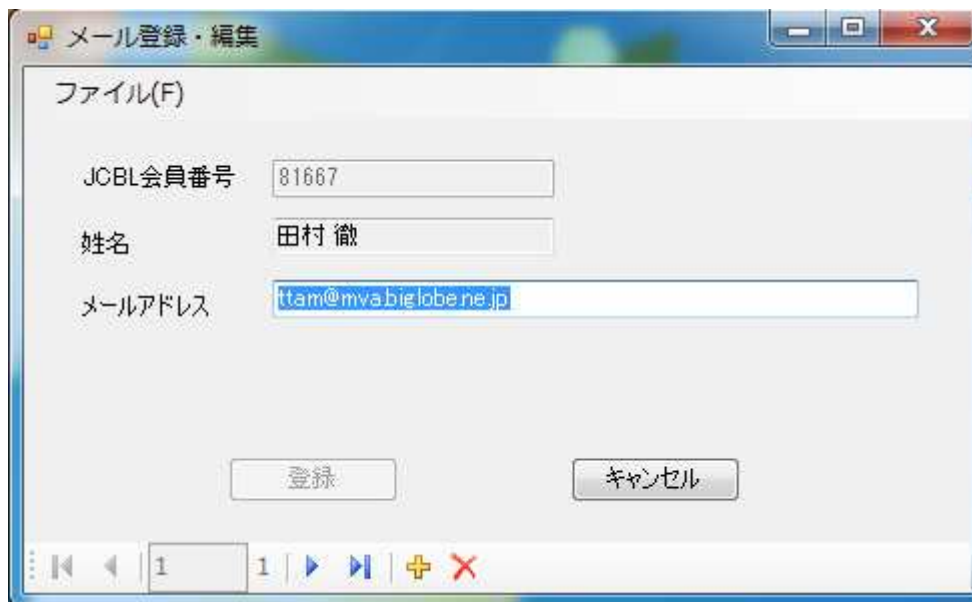
(2)メールアドレスの登録と編集

「メール」-「登録メール」を選択



削除したい場合は、削除する行を選択し、「編集」-「削除」を選択。

編集したい場合は、「ファイル」-「登録フォームを開く」を選択



メールアドレスを編集できる他、フォーム下部のボタンを使って、追加、削除などの処理が可能。

6. ログ情報の確認(新規)

(1)メインフォームの「Web エントリー」メニューから「ログ表示」を選ぶ。

Web で申し込まれたデータが表示される。

code はエラーコードで、0 の場合は正常に保存されたことを示す。それ以外はエラー。

削除したい時は、「編集」メニューで操作

7. その他

【排他制御】

競技会申込フォームでユーザーが申し込みした際、ユーザーには申込受付メールが送付され、それには問い合わせ番号が記載されている。その問い合わせ番号は「765-23」のように記載されているが、最初の数字は競技会 id で受付プログラムで登録されている番号、次の数字は Web サーバー上にある受付プログラムからアップロードされたエントリーデータ及びアップロード後申し込まれたデータの受付番号+1 の番号である。したがって、アップロードの間に手動で受付プログラムに入力したデータと Web から申し込まれたデータと競合することがあり得る。

これを極力避けるには、手動で入力する時は、その前に Web 上の申込データを受付プログラムに登録する。

【競技会名の注意】

競技会名を付ける時、「SRR&ペア」等で使われる「&」については、問題がありますので、使用する場合は全角文字を使ってください。

また、右図の全角文字は使用しないこと。メールが文字化けする。なお、「I、II、III IV」等のローマ数字はメール送信時に変換していますが、可能な限り使用しないこと。

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
0x8740	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
0x8750	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X		ミ
0x8760	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	mm
0x8770	cm	km	mg	kg	cc	m ²									平成	
0x8780	"	"	No.	K.K.	TEL	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	(株)	(有)	(代)	明治	大正	昭和
0x8790	≡	≡	§	§	Σ	√	⊥	∠	∠	∠	∠	∠	∠	∠		

【データベースへの登録の際のデータの確認について】

Web サーバー上の競技会申込データには、申込フォームで入力された情報の他に、bp あるいは sp 等の会員情報が書き込まれている。データベースに登録する際は、その情報をそのまま登録します。データのチェックなどは行いません。また、申込フォームでは会員のその競技会参加資格等はチェックしません。したがって、ウィメンズチームに男性が申し込んでもそのまま登録されることに注意してください。SP 情報なども Web サーバー上の会員情報から取得しています。対象月のデータがない場合は 0 になります。

【受付メール送信機能を追加】

そのため、Microsoft Access の受付プログラム内に下記のデータを追加し拡張（追加処理はプログラムで処理）。

mailTable を作成

Event に mailContent フィールドを memo 型で追加

Event に uploadFlag フィールドを bool 型で追加

Event に closingFlag フィールドを bool 型で追加

Team に mailContent フィールドを Text 型で追加

Team に mailAddress フィールドを Text 型で追加

Team に registDate フィールドを Text 型で追加

【Web サーバー上のシステムのディレクトリ構造】(変更)

<entrySystemOfunaDB>	
<commonCode>	共通の JavaScript コード
<entryDisp>	受付状況表示システム
<images>	画像データ
<Code>	受付状況表示システムのための JavaScript コード
<lib>	jQuery、blockUI、json2、prototype 等
<php>	共通の php コード
<temp>	upload のための一時的 text ファイル
<WebEntry>	競技会申込システム
<Images>	画像データ
<php>	競技会申込システムのための php 実行ファイル
<Code>	競技会申込システムのための JavaScript コード

【~~パーミッション~~】

~~Directory のパーミッションは 705、file のパーミッションは 700 に設定する必要がある。~~

【修正情報】

on 11/11/29 ver.1997 Web Server 上のデータに不正なデータがあるとき、エラーメッセージを表示

on 12/04/05 ver.2000 新しい Web サーバー用に修正。

注 Forval のサイトのパーミッションの変更はフォーバルのコントロールパネルを使用する。

on 12/05/01 ver.2010 申し込みが 1 件もない時、MaxMembers が 0 になるので、タブフィールドから取得する。(新しい競技会を作成した時は、入力欄のチェックマークを人数分に設定しておくこと。チーム戦)。

on 12/07/09 ver.2011 データが何もない場合、getMaxEntryNumber(WebEntryForm)でエラーになるバグを修正

on 12/08/02 エントリーがない競技会の時、受付番号が 2 から始まる。getMaxEntryNumbes のバグ 1->0 へ修正

on 13/02/10 バージョン 3 にバージョンアップ

【Web DB のデータ構造】

url = "10.1.12.40"; //phpmyadmin から得た

user = "u273272_ttam";

pass = "darkrope";

db = "db273272_webEntry";

●event info				●jcbl info			
closingflag	tinyint	1		jcblnumber	mediumint	8	unsigned
entrynums	smallint	6		personname	varchar	16	
eventdate	varchar	10		senior	tinyint	4	
eventid	smallint	6		furigana	varchar	16	
eventname	varchar	50		sex	varchar	1	
eventtype	varchar	20					
maxmembers	smallint	6		●logtable			
●entry_info				id	int	11	auto increment
event_id	smallint	6		registdate	varchar	20	
eNo	smallint	5	unsigned	content	text		
sp	int	11		code	tinyint	4	
jcbl0	int	11		●mpinfo_base			
jcbl1	int	11		jcblnumber	int	11	
jcbl2	int	11		month	smallint	11	
jcbl3	int	11		bp	int	11	
jcbl4	int	11		rp	int	11	
jcbl5	int	11		sp	smallint	11	
name0	varchar	16		●non_exhibition_member			
name1	varchar	16		jcblnumber	int	11	
name2	varchar	16		registdate	varchar	10	
name3	varchar	16		●webFormatTable			
name4	varchar	16		id	smallint	6	0に初期値
name5	varchar	16		shortcenter	varchar	50	
sp0	smallint	6		mailaddress	varchar	50	
sp1	smallint	6		telnumber	varchar	15	
sp2	smallint	6		longcentername	varchar	50	
sp3	smallint	6		urlandfoldername	varchar	100	
sp4	smallint	6					
sp5	smallint	6					
bp0	int	11					
bp1	int	11					
bp2	int	11					
bp3	int	11					
bp4	int	11					
bp5	int	11					
zipcode	varchar	10					
address	varchar	50					
telnumber	varchar	15					
mailaddress	varchar	50					
webentryflag	tinyint	1					
webRegistDate	varchar	20					

ウェブ上のデータベースへのアクセスと操作(大船)

on 2013/02/07

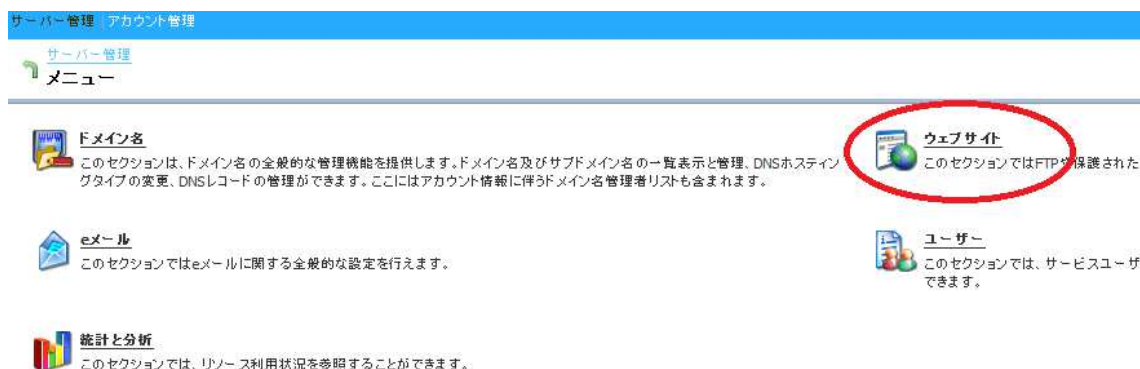
1. ブラウザから <https://cp.hosting-sv.jp/single.html> にアクセス



ログイン画面のスクリーンショット。タイトルは「ログイン」。入力欄には「ユーザー名」に「JB0447」、「パスワード」に「*****」、「言語」に「日本語」が選択されている。下部には「ログイン」ボタンがある。

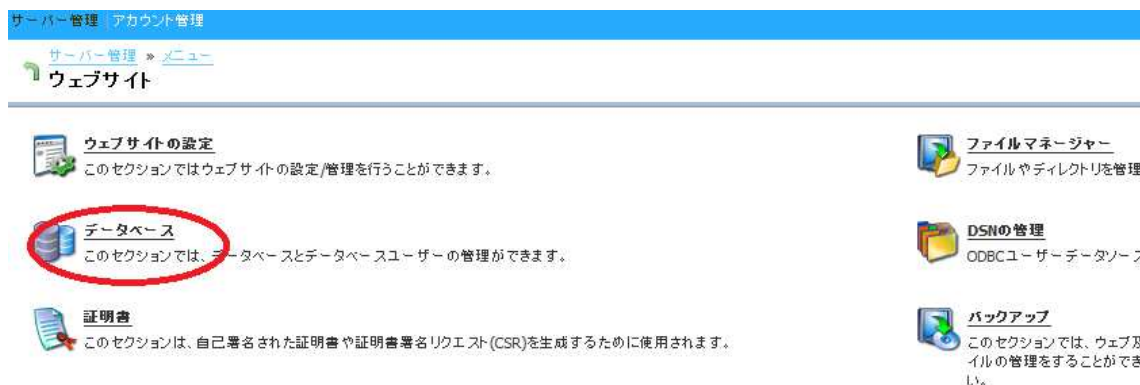
ユーザー名 JB0447 (ご契約情報内の契約者アカウント名)
パスワード N7TDfVd(ご契約情報内のパスワード)

2. ウェブサイトを選択



3. データベースを選

択



4. データベース名下部の「db273272_webEntry」をクリック



5. データベースの管理

理行の「<https://cp.hosting-sv.jp/phpmyadmin/759/>」をクリック



6. phpmyadmin が起動

phpmyadmin の操作は Web 等を参考に

【参考】php でのデータベースへのアクセス

```
url = "10.1.12.40"; //phpmyadmin から得た
user = "u273272_ttam";
pass = "darkrope";
db = "db273272_webEntry";
```